

日本宗教学会
第62回学術大会

2003年9月3日(水)～5日(金)

天理大学

奈良県天理市柚之内町1050

お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取りください。お帰りの際は、受付に名札をご返却ください。
2. 受付には、学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納めください。
3. 研究発表者は、発表の2番前には、その部会の会場においでください。また申し込み時にOHP、スライド、パワーポイントの使用を申請された方は、発表する部会のはじまる前に（午前の部会なら開始前に、午後の部会なら昼休みに）会場係にお申し出ください。
4. 発表時に配布するレジюме・資料が足りなくなることがあります。余裕をもってご用意ください。
5. 一般部会の発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願いいたします（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）。
6. 研究発表のレジюме（表紙・本文）は、部会責任者にお渡しください。その際の表紙は、同封の表紙用紙をご利用ください。印刷の能率化のため、レジюмеは通常原稿のほかに、フロッピーディスクでも提出していただくことになっております。諸注意につきましては、表紙用紙の裏面をご覧ください。
7. 喫煙は、所定の場所以外ではご遠慮ください。

受	付	9月3日	2号棟入口
		9月4日・5日	3号棟1階 正面入口
会員休憩室		3号棟2階	321教室・4号棟1階 学生ホール
ク	ロ	ク	4号棟2階 42G教室
昼	食		キャプテンクック(食堂)
学会本部・大会実行委員会		3号棟1階	講師室

日 程

9月3日(水)

各種委員会	研究棟 各会議室	11:30-13:15
学会賞選考委員会	研究棟 第5会議室	11:30-13:15
開会式	2号棟 24A教室	13:20-13:30
公開国際シンポジウム	2号棟 24A教室	13:30-17:30

(天理大学附属おやさと研究所60周年記念)

テーマ「宗教の概念とそのリアリティ」(The Concept of Religion and Its Reality)

基調講演	チャールズ・H・ロング (カリフォルニア大学サンタバーバラ校名誉教授)
	ウィリアム・グラハム (ハーバード大学教授、同大学神学大学院長)
発表者	氣多雅子 (京都大学教授)
	島 蘭 進 (東京大学教授、日本宗教学会会長)
コメント	澤井義次 (天理大学教授)

常務理事会	研究棟 第3会議室	17:30-18:00
理事会	第38母屋	18:00-20:00

9月4日(木)

研究発表・特別部会	3号棟 2階・3階各教室	9:00-12:00
評議員会	2号棟 24A教室	12:00-13:30
『宗教研究』編集委員会	研究棟 第3会議室	12:00-13:30
研究発表・特別部会	3号棟 2階・3階各教室	13:30-16:30
会員総会	2号棟 24A教室	16:40-17:40
懇親会	教会本部 第2食堂	18:00-20:00

9月5日(金)

研究発表	3号棟 2階・3階各教室	9:00-12:00
IAHR 第19回世界大会実行委員会	研究棟 第1会議室	12:00-13:30
研究発表	3号棟 2階・3階各教室	13:30-16:30
閉会式	各部会終了後部会ごとに	

公開国際シンポジウム

—天理大学附属おやさと研究所60周年記念—

「宗教の概念とそのリアリティ」

The Concept of Religion and Its Reality

【開催日時】 平成15(2003)年9月3日(水) 13:30-17:30

開催趣旨

現代世界がますますグローバル化する状況において、現代の宗教研究は、他の学問領域と同様、これまで蓄積されてきたさまざまな研究成果を踏まえながら、従来の宗教に関する諸概念を新たな視点から再検討する必要性に迫られている。それと同時に、宗教の多様性とその具体的なリアリティに照らして、世界の諸宗教を理解することが求められている。この国際シンポジウム「宗教の概念とそのリアリティ」は、20世紀における宗教研究の主要な成果を再考するとともに、宗教研究における新たなパースペクティブの探究をめざすものである。

人文科学や社会科学における近年の研究動向に注目するとき、宗教研究には、ますます多様な理論と方法が求められるようになってきている。また、現代世界における「超越性」の意味、聖典のエクリチュール性とそのパロール性、あるいは、宗教経験とその言説などを明らかにすることも、現代の宗教研究における重要な研究課題となっている。

こうした宗教研究の動向を踏まえて、このたび、天理大学附属おやさと研究所創設60周年を記念して、日本宗教学会第62回学術大会に合わせて、国際シンポジウムを開催することになった。このシンポジウムが、21世紀における宗教研究の新たな展開に向けて、少しでも寄与できることを念願している。

開会の辞 橋本武人（天理大学長）（13:30-13:40）

司会 宮田 元（天理大学附属天理図書館副館長）

基調講演 1（13:40-14:20）

「宗教研究の理論と方法」

チャールズ・H・ロング（カリフォルニア大学サンタバーバラ校名誉教授）

基調講演 2（14:20-15:00）

「比較宗教学再考」

ウィリアム・グラハム（ハーバード大学教授、同大学神学大学院長）

講演 1（15:10-15:40）

「現代社会と宗教哲学」

氣多雅子（京都大学教授）

講演 2（15:40-16:10）

「現代宗教と宗教研究」

島 蘭 進（東京大学教授、日本宗教学会会長）

コメント（16:10-16:30）

澤井義次（天理大学教授）

ディスカッション（16:30-17:20）

閉会の辞 井上昭夫（天理大学附属おやさと研究所長）（17:20-17:30）

特別部会 1 宗教研究における聖典論－新たなパースペクティヴの構築へ向けて－
(9月4日 9:00－12:00 3号棟 33C教室)

従来の宗教研究において、世界の諸宗教における聖典は、さまざまな角度から研究されてきたが、おもに研究対象とされてきたのはエクリチュール(書き言葉)としての聖典であった。一方、これまでもその重要性は認識されながらも、パロール(話し言葉)としての聖典はほとんど注目されてこなかった。

今後の聖典研究では、聖典のパロール性にも注目していく必要がある。そうした意味において、この部会における討議が、今後の聖典研究における新たなパースペクティヴの構築へ向けて、少しでも寄与できることを念願している。

コーディネーター 鎌田 繁 (東京大学東洋文化研究所)

「現代ユダヤ教神学の可能性－聖典解釈の伝統と革新－」
市川 裕 (東京大学)

「古代インドにおける仏教聖典と実践」
下田正弘 (東京大学)

「聖典と信仰の関わり－日本の宗教伝統をめぐって－」
堀内みどり (天理大学おやさと研究所)

「イスラームの展開における聖典の役割」
鎌田 繁 (東京大学東洋文化研究所)

コメント 土屋 博 (北海学園大学)、チャールズ・H・ロング、ウィリアム・グラハム

特別部会 2 宗教研究の課題と方向性－新たな概念的枠組みの構築へ向けて－
(9月4日 13:30－16:30 3号棟 33C教室)

宗教学はヨーロッパで成立したこともあり、長年にわたって、おもに一神教的な概念的枠組みをとおして、世界の諸宗教やさまざまな宗教現象が把握されてきたきらいがある。しかし、21世紀を迎えた今日、これまで蓄積されてきた理論的な枠組みを再考しながら、宗教研究における新たなパースペクティヴを構築することが求められている。

この部会における討議が、宗教研究の諸課題を明らかにするとともに、今後の宗教研究における新たな概念的枠組みの構築へ向けて、方向性を提示できることを念願している。

コーディネーター 池上良正 (駒澤大学)

「宗教研究の方法論的問題再考」
棚次正和 (京都府立医科大学)

「文学理論と宗教研究－宗教表現の読解とその技法－」
岡田正彦 (天理大学)

「神話学の宗教学への貢献の可能性」
松村一男 (和光大学)

「民俗・民衆宗教研究の視角をめぐって」
池上良正 (駒澤大学)

コメント 金井新二 (東京大学)、チャールズ・H・ロング、ウィリアム・グラハム

1 部会 (3号棟 32C教室)

4日(木) 9:00~12:00

1. 「プラグマティズムの帰結」としての宗教批評の可能性
2. 文化としての宗教の構築
3. 宗教概念と民族概念
4. テリトリーを守る文化としての宗教の作業仮説的定義について
5. 岸本英夫の生死観
6. 死とその宗教的意味づけ
7. 伝道の本義—伝えうることは何か?—
8. 宗教研究における「信仰」と「宗教」

島田 勝巳 (天理大)
堀江 宗正 (聖心女子大)
藤原 聖子 (大正大)
平野 孝國
中村みどり (京大)
宇都宮輝夫 (北大)
関 一敏 (九大)
鈴木 岩弓 (東北大)

4日(木) 13:30~16:30

1. 日本の神話学におけるフランス社会学派の影響—松本信広を中心に—
2. マックス・ミュラーの宗教学成立の周辺—エマソンとの関わり他—
3. 宗教学の黎明と神話研究
4. 宗教学的回心研究—Conversion と廻心—
5. ハイラーの宗教理論
6. 宗教現象学と宗教哲学の連関について
7. 石津宗教哲学における実証学の位置づけについて
8. 信仰の内部構造解明についての問題点

平藤喜久子 (國學院大)
前田 禮子 (追手門学院大)
佐々木 啓 (北大)
徳田 幸雄 (東北大)
宮嶋 俊一 (神奈川大)
井手 直人 (筑波大)
木村 敏明 (東北大)
加藤 智見 (東京工芸大)

5日(金) 9:00~12:00

1. 創造的解釈学について
2. 宗教経験の実在性
3. 『燃え上がる緑の木』の宗教学的研究
4. 児童文学における死生観
5. 賢治宇宙と宗教的エコロジー
6. グローバリゼーションと宗教—宗教間対話に求められているもの—
7. 宗教的場と先住民宗教
8. 一神教、多神教、汎神教の宗教学的問題について

喜田川仁史 (筑波大)
沖永 宜司 (帝京大)
岡村真由美 (日本女子大)
大澤千恵子 (東大)
佐藤 郁之 (国際宗教研究所)
山梨有希子 (南山大)
木村 武史 (筑波大)
荒木美智雄 (国士館大)

5日(金) 13:30~16:30

1. ユング心理学の神学的傾向について
2. デュルケームとフロイト—社会の臨床へのまなざし—
3. 聖書における夢の諸相
4. 宗教学的宗教運動—R. オットーと W. ハウアーを事例として—
5. 新宗教と知識人—ドイツ初期宗教社会学に見る—
6. 国家的祝祭と宗教
7. 丸山真男の「政事の構造」論と日本宗教学者の祭司王論

高橋 原 (国際宗教研究所)
安藤 泰至 (鳥取大)
河東 仁 (立教大)
久保田 浩 (チュービンゲン大)
深澤 英隆 (一橋大)
川村 邦光 (阪大)
池田 昭

2 部会 (3号棟 32B教室)

4日(木) 9:00~12:00

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 宗教は言語ゲームではないのか?—宗教言語ゲーム論再考— | 松野 智章 (大正大) |
| 2. ジェイムズからローティへ—プラグマティズム宗教論の系譜— | 堀 雅彦 (北海道大) |
| 3. S. Cavellと懐疑主義をめぐって | 長谷 瑞光 |
| 4. ロマンティッシュ・イロニーと「私的共同体」 | 和智 右桂 (東大) |
| 5. ルドルフ・オットーにおける空思想理解と禅思想理解の問題点 | 木村 俊彦 (四天王寺国際仏教大) |
| 6. 神話と宗教哲学—ベルクソン、ギュスドルフ、キャンベル— | 安藤 恵崇 (高知大) |
| 7. ベルクソンの宗教哲学における「神秘主義」の意義 | 鶴岡 賀雄 (東大) |
| 8. 救いの二つの道—長者時代の詩歌と信仰様相— | 植田 重雄 (早大) |

4日(木) 13:30~16:30

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. プラトンの死生観—宇宙論との関わりから— | 土井 裕人 (筑波大) |
| 2. ハイデガーと中世神秘主義の諸問題 | 田中 敏明 (龍大) |
| 3. ハイデガーのパウロ書簡解釈 | 若見 理江 |
| 4. ル・フォールにおける「愛」 | 八木 博 (山梨大) |
| 5. S. キェルケゴールにおける《心理学的実験》の意義について | 平林 孝裕 (関西学院大) |
| 6. マザー・テレサに於けるインターレリジナス・エクスピリアンス | 濱田 陽 (国際日本文化研究センター) |
| 7. 哲学はキリスト教的根源悪を許容できるか—罪と原罪の区別— | 福光 瑞江 |
| 8. 「対話」の問題—精神と心の相違を介して— | 花岡 永子 (奈良産業大) |

5日(金) 9:00~10:00

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 波多野精一とバルト | 石浜 弘道 (日大) |
| 2. 柳宗悦のブレイク理解—「想像」と「直観」の概念を中心に— | 李 勝鉉 (東大) |
| 3. 鈴木大拙の“日本的靈性なるもの”について | 和田 真二 (帝塚山学院大) |

5日(金) 10:10~12:00

【テーマセッション】京都学派の宗教的世界観

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 西谷宗教哲学の中期から後期への深化について | 司会 花岡 永子 (奈良産業大) |
| 2. 『善の研究』における芸術観 | 小野 真 (大阪外国語大) |
| 3. 西田哲学における宗教的世界観の前提 | 浅倉祐一郎 (三鷹市芸術文化振興財団) |
| 4. 〈永遠の今〉について | 加島 史健 (大阪明星学園) |
| 総合討論 | 小坂 国継 (日大) |

5日(金) 13:30~16:30

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 「外」ということ—アウグスティヌスとレヴィナスの場合— | 松田健三郎 (天理大) |
| 2. リクルの宗教思想における贈与の経倫 | 佐藤 啓介 (京大) |
| 3. レヴィナスにおける「感受性」の問題 | 鶴 真一 (大阪医科大) |
| 4. ニーチェ『アンチクリスト』におけるイエス像 | 竹内 綱史 (京大) |
| 5. ブーバーにおける実存についての一考察 | 山本 邦子 (同志社大) |
| 6. シモーヌ・ヴェイユにおける「死の哲学」 | 今村 純子 (京大) |
| 7. ニーチェ・カルトと歴史主義の問題 | 掛川 富康 (茨城キリスト教大) |

3 部会 (3号棟 32A教室)

4日(木) 9:00~12:00

1. ダヴィッド・ベン・ユダ・ヘハシードにおける祈りのカバラ的解釈
2. 古代イスラエル・ユダヤにおける王権神学の展開
3. 宗教戦争の本質構造
4. 手紙と祈り—シュメール、アッカド宗教学の場合—
5. ユリアヌスと儀礼—儀礼論・儀礼実践とその受容—
6. Sol Invictus Elagabal 神に関する考察
7. ルルド巡礼における「公共性」の展開—公式/社会的/公開性—

荻本 幸 (ヘブライ大)
 加藤久美子 (立教大)
 黒川 知史 (愛知教育大)
 高井 啓介 (日本学術振興会)
 中西 恭子 (東大)
 平 美和 (東大)
 寺戸 淳子

4日(木) 13:30~16:30

1. ノヴァーリスの『キリスト教あるいはヨーロッパ』について
2. 旧約聖書における「心」のありかについて
3. プトレマイオス『フローラへの手紙』における「義の神」概念
4. イエス伝研究における「神話」概念の有効性
5. J.モルトマンにおける救済史的神学
6. 終末論は「神学」の母なのか?
7. 一神教と多神教の二分法に対する批判的考察
8. パウロにおける神の予定と人間の責任

田口 博子 (江戸川大)
 岩井 美好 (早大)
 津田 謙治 (京大)
 石川 智子 (苫小牧高専)
 名木田 薫
 深井 智朗 (聖学院大総合研究所)
 小原 克博 (同志社大)
 野口 誠 (茨城キリスト教大)

5日(金) 9:00~12:00

1. ジャンセニウスの方法序説—『アウグスティヌス』第2巻序説—
2. ルターと煉獄の問題
3. ミュンツァーとデンケー “Ordnung” 観をめぐって—
4. アウグスティヌスとルター—カリタス概念の継承—
5. アンセルムス「聖母マリアへの祈り」におけるディレクティオ
6. 岩下壮一における救済思想の形成—カトリック社会観と人間観—
7. 第二バチカン公会議以降に見るカトリックとユダヤ教の間の諸問題
8. スピノザにおける律法主義 (ユダヤ主義) の問題

林 伸一郎 (明星大)
 川口 茂雄 (京大)
 木塚 隆志 (駿河台大)
 早乙女禮子
 山崎 裕子 (文教大)
 輪倉 一広 (愛知江南短大)
 木鎌耕一郎 (八戸大)
 安中 隆徳 (産業能率大)

5日(金) 13:30~16:30

【テーマセッション】 ティリッヒ研究の現状とその可能性

1. 初期ティリッヒのフィヒテ解釈
 2. ティリッヒのキリスト論—カッセル講演を中心に—
 3. ティリッヒとフロム—自己愛をめぐって—
 4. ティリッヒの教会建築論について
 5. ティリッヒの宗教社会主義—その現代的意義についての—考察—
 6. ティリッヒと平和の神学—平和・戦争・民族—
- 総合討論

司会 小原 克博 (同志社大)
 近藤 剛 (京大)
 高橋 良一 (関西大)
 今井 尚生 (西南学院大)
 石川 明人 (北大)
 岩城 聰 (京大)
 芦名 定道 (京大)

4 部会 (3号棟 32G教室)

4日(木) 9:00~12:00

1. 『法華義記』における仏種
 2. 『阿毘曇心論』業品における三受業について
 3. 「煖」法説成立における「四句法」の一考察
 4. 吉蔵撰『金光明経疏』の真偽について
 5. 中国仏教における縁起思想の理解—「縁起」と「縁集」をめぐって—
 6. 中国仏教における止観
 7. 北朝皇帝喪礼の変遷—北齊・北周を中心に—
 8. 沙門果経異本に見る小乗と大乘
- 早川 貴司 (龍大)
智谷 公和 (相愛大)
周 柔含 (立正大)
林 鳴宇 (東京電機大)
織田 顕祐 (大谷大)
洪 鴻榮 (立正大)
田沼 真弓 (國學院大栃木短大)
今西 順吉 (国際仏教学大学院大)

4日(木) 13:30~16:30

1. 北伝阿含とアッタカターの「称名念仏」に関する一考察
 2. 『大阿弥陀経』における出家と在家
 3. 大乘涅槃経と阿含経—水喩の考察—
 4. 『大乘起信論』—漢訳題名の問題と Skt. 原題の推定—
 5. 仏弟子アーナンダの呼称について
 6. アティーシャに帰される二つの『大乘道成就撰集』について
 7. ニカーヤにおける世界のあり方に関する一考察
 8. パンニャーサジャータカについて
 9. 大乘仏教の起原について
- 馬場 紀寿 (東大)
佐々木大悟 (龍大)
藤井 淳 (東大)
阿 理生 (九大)
田村 典子 (東大)
望月 海慧 (身延山大)
テシャラッタナシット・ソムキヤット (東大)
茨田 通俊 (東方研究会)
村上 真完

5日(金) 9:00~12:00

1. 碑銘から見た義夫の思想について
 2. 中国における五念門行説の引用について
 3. 見道前修行段階としての順解脱分及び順決択分—『婆沙論』を中心に—
 4. 『無記化化禅』について
 5. 慈恩基の如来蔵観と〈自性〉
 6. 竺法護と薩曇分陀利経
 7. 道闇『観経疏』について
 8. 仏典大乘化の手法—首楞嚴 (シューランガマ) の意義—
- 鄭 世成 (立正大)
中平 了悟 (龍大)
孫 儷若 (龍大)
長倉 信祐 (大正大総合佛教研究所)
橘川 智昭 (東洋大)
筒井 奈々 (立正大)
柴田 泰山 (浄土宗総合研究所)
小林 圓照 (花園大)

5日(金) 13:30~16:30

1. 朝鮮近代新宗教の分類法に関する一試論
 2. 慈悲殺の賛否論をめぐって
 3. 新羅時代の「七處伽藍之墟」について
 4. 中国古代の神統記 (テオゴニア)
 5. ヒンドゥー教における放棄者の象徴性
 6. インド仏教の衰亡考
- 佐々 充昭 (國學院大日本文化研究所)
金 永晃 (大正大総合佛教研究所)
李 興範 (立正大)
森 雅子 (中央大)
渡邊たまき (筑波大)
保坂 俊司 (麗澤大)

5 部会 (3号棟 32F 教室)

4日(木) 9:00~12:00

1. 近代日本における他者の墓地をめぐる言説と実践
2. 神社縁起の言説構造
3. 平田篤胤における読書と創意—『古史伝』についての『古事記伝』—
4. 了誉聖阿の神祇観—『麗気記拾遺抄』を中心に—
5. 明治国学と近代「神道学」の関係
6. 中江藤樹の太虚観
7. 大本教事件と其の教義の変遷—その現況—
8. 肉食妻帯論続考

土居 浩 (ものづくり大)
石倉 孝祐 (飛鳥山博物館)
遠藤 潤 (國學院大)
鈴木 英之 (早大)
藤田 大誠 (國學院大)
鈴木 保實 (愛知県立明和高)
出口 榮二
中村 生雄 (阪大)

4日(木) 13:30~16:30

1. 山上憶良とヨブ
2. 佐藤在寛のキリスト教観—新井奥遼の系譜—
3. 近代日本における無教会キリスト者の天皇観について
4. 明治期啓蒙知識人の言説にみる「宗教」から「道徳」への転回
5. 『六合雑誌』における明治キリスト教と神代文字
6. フランス公立小学校における道徳教育の宗教学的的研究1870-1914
7. 日本キリスト教研究史—成果と課題—
8. パウロと親鸞における回心と改名の関係について

芦名 裕子 (聖学院大)
播本 秀史 (明治学院大)
村松 晋 (東京家政学院筑波女子大)
山口 亜紀 (名古屋大)
金 文吉 (釜山外国語大)
手戸 聖伸 (東大)
待井扶美子 (日本学術振興会)
高山 貞美 (上智大)

5日(金) 9:00~12:00

1. 関東大震災時における宗教者の活動—一日中関係を軸として—
2. 宗教とNGOの系譜
3. 平井金三の宗教思想
4. 昭和前期における大日本回教協会の活動について
5. 吉野作造の人間観—海老名弾正の神子観の変容と変化—
6. キリシタン世紀における宗教の民衆化
7. 19世紀末日本組合派キリスト者のハワイ「越境」伝道
8. 新渡戸稲造におけるクエーカーとしての信仰態度を検討する

辻村志のぶ (東大)
稲場 圭信 (神戸大)
吉永 進一 (舞鶴高専)
大澤 広嗣 (大正大)
氏家 法雄 (立教大)
狭間 芳樹 (京都光華女子大)
吉田 亮 (同志社大)
雨貝 行麿 (東北学院大)

5日(金) 13:30~16:30

1. 古代における病いの救済—日本靈異記を中心として—
2. 謡曲に見られる天神信仰—「菅丞相」と「雷電」を中心に—
3. イスラムから見る「他者」像
4. 予定説と「天の書」—クルアーン13章39節の解釈をめぐる—
5. śivasvarodaya の西漸
6. パーキッラーニーの宇宙論

元 永常 (佛教大)
永原 順子 (京大)
八木久美子 (東京外国語大)
大川 玲子 (日本学術振興会)
榊 和良 (北海道武蔵女子短大)
塩尻 和子 (筑波大)

6 部会 (3号棟 32E 教室)

4日(木) 9:00~12:00

1. 高楠順次郎『生の實現としての佛教』にみられる「人格」の検討
2. 日想観における生命思想
3. 明恵に於ける死者供養の展開
4. 幻住派と吉田神道について—一月舟寿桂と吉田兼俱を中心に—
5. 「即」—空海と道元をつなぐもの—
6. 道元の菩薩道と福祉の接点
7. 瑩山禅師の「懺悔滅罪」観について
8. 密語密人に相逢す—『正法眼蔵』における語話について—

高橋由記子
 神居 文彰 (佛教大)
 前川 健一 (東大)
 安藤 嘉則 (駒沢女子大)
 何 燕生 (郡山女子大)
 新保 哲 (文化女子大)
 宮地 清彦 (曹洞宗総合研究センター)
 土田 友章 (南山大)

4日(木) 13:30~16:30

1. 花はどこに咲いているか—Bump of Chicken における宗教性の発露—
2. 『往生要集』における業の思想
3. 椎尾弁匡における宗教観
4. 靈験譚の展開—生人物と浄瑠璃の「観音靈験記」について—
5. 妙好人に出会った人々—鈴木大拙・柳宗悦・楠恭—
6. 『日本靈異記』の身体性
7. 「日本的靈性」の批判的考察

西元 和夫 (龍大)
 高田 文英 (龍大)
 象原 恒久 (大正大)
 細田 明宏 (日本学術振興会)
 菊藤 明道 (京都創成大)
 稻城 正己 (佛教大)
 鎌田 東二 (京都造形芸術大)

5日(金) 9:00~12:00

1. 仏師快慶と慈円
2. 天台教学における仏陀観の展開
3. 観心主義と文献主義
4. 空海における本覚と自心仏
5. 近世律宗の僧—賢俊良永とその門流—
6. 身延山信仰の一形態—一切経の寄進をめぐる—
7. 日蓮撰『注法華経』成立についての一試論
8. 日蓮信仰と宗教多元主義—折伏を見すえながら—

青木 淳 (高知女子大)
 田村 完爾 (立正大)
 花野 充道 (早大)
 福田 亮成 (大正大)
 藤谷 厚生 (四天王寺国際仏教大)
 望月 真澄 (身延山大)
 関戸 堯海 (立正大日蓮教学研究所)
 笠井 正弘 (福岡医健)

5日(金) 13:30~16:30

1. 中世日蓮教団における祖師忌日の対応
2. 深草元政の研究
3. 日蓮における「法」の宗教—『注法華経』を素材として—
4. 日蓮撰『一代五時図』の研究
5. 「事円」をめぐる問題
6. 日蓮の神祇思想について

堀部 孝二 (立正大)
 片桐 海光 (立正大)
 大久保雅行 (久留米大)
 森 清顕 (立正大)
 布施 義高 (法華宗[陣門流]学林)
 北川 前肇 (立正大)

7 部会 (3号棟 32D教室)

4日(木) 9:00~12:00

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 清沢満之の宗教哲学における転化論—『宗教哲学骸骨』などから— | 角田 佑一 (上智大) |
| 2. 清沢満之の心理学理解 | 田村 晃徳 (親鸞仏教センター) |
| 3. 清沢満之の「現在安住」に関する一考察 | 西本 祐攝 (大谷大) |
| 4. 国民「宗教」の教説—晁鳥敏の『古事記』解釈をめぐる— | 福島 栄寿 (真宗大谷派教学研究) |
| 5. 覚如における歎異抄受容について | 塚本 一真 (龍大) |
| 6. 曇鸞教学における「信」の考察 | 本明 義樹 (大谷大) |
| 7. 曇鸞における阿弥陀仏の両義性 | 陳 敏齡 (輔仁大) |
| 8. 受戒儀式と袈裟 | 龍口 明生 (龍大) |

4日(木) 13:30~16:30

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 親鸞における時の考察—龍樹の大乗仏教時間論を視座として— | 川上 孔龍 (龍大) |
| 2. 真宗学における伝道学の位置付けについて | 長岡 岳澄 (龍大) |
| 3. 親鸞における宗教経験の位相 | 山本 浩信 (教学伝道研究センター) |
| 4. 親鸞における疑について | 高木 淳善 (大谷大) |
| 5. 真宗に於ける疑について | 清水 大 (龍大) |
| 6. ことばになった仏 | 木村 世雄 (龍大) |
| 7. 親鸞思想における本地垂迹説に関する一考察 | 井上 見淳 (龍大) |
| 8. 覚明房長西における「専修」理解について | 那須 一雄 |

5日(金) 9:00~12:00

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 浄土真宗の信仰的精神—信心に具備する真の社会的公共性— | 澁谷 真明 (大谷大) |
| 2. 親鸞の往生義に関する一考察 | 弘中 照夫 (龍大) |
| 3. 親鸞が門弟にすすめた書物について | 安藤 章仁 (龍大) |
| 4. 親鸞における行信究明の視点—行巻と信巻の連関を中心に— | 藤元 雅文 (大谷大) |
| 5. 『本願寺宗政論』が現代の教団に示唆するもの | 曾我 宗慶 (大谷大) |
| 6. 信巻逆誘攝取釈の構造 | 高瀬 大宣 (龍大) |
| 7. 五重相伝における心理学的試論 | 太田 俊明 (西山浄土宗教学研究) |
| 8. 宗教的真實についての研究—「正信偈」を中心として— | 中山 彰信 (九州情報大) |

5日(金) 13:30~16:30

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 浄土真宗における「いのり」についての一試論 | 大谷 光淳 (龍大) |
| 2. 真宗における仏身論 | 牧野 仁 (龍大) |
| 3. 恵信尼文書の「不断念仏」について | 龍口 恭子 (龍大) |
| 4. 『入出二門偈』の五念門の菩薩 | 鞆津 照信 |
| 5. 「真宗社会学」試論—伝道史的観点からの一考察— | 高山 秀嗣 (龍大) |
| 6. 親鸞における化土往生の現実的意味 | 紅樫 英顕 (相愛女子短大) |

8 部会 (3号棟 33G教室)

4日(木) 9:00~12:00

1. キトラ古墳壁画考—礼制・仏教・金属—
2. 孝経緯に見える天人感応について
3. 牛頭天王縁起の展開—陰陽道の民俗相として—
4. 陰陽寮はなにを扱うために設置されたのか?
5. 顕密体制論と陰陽道史
6. 中国大理白族の葬送儀礼
7. 天師道と房中術
8. 鐘馗信仰—天理市内を中心に—

- 多田 伊織 (白鳳女子短大)
 清水 浩子 (大正大)
 小池 淳一 (国立歴史民俗博物館)
 鈴木 一馨 (東方研究会)
 林 淳 (愛知学院大)
 菅原 壽清 (曹洞宗総合研究センター)
 坂出 祥伸 (関西大)
 窪 徳忠

4日(木) 13:30~16:30

1. 火葬と位牌・戒名—男鹿脇本の葬儀を通して—
2. 明治期葬儀慣習の変化と風俗改良運動
3. 谷本富の教育と宗教
4. 大正期における知識人の宗教—浅野和三郎を中心に—
5. 強制隔離に抵抗した生涯—ハンセン病医師・小笠原登の医療思想—
6. 聖なる空間と「距離」について
7. 「レリギオ」と「まつり」—宗教研究の再定位の試み—
8. 社叢と聖空間に関する比較研究

- 須藤 寛人 (駒大)
 村上 興匡 (東大)
 野崎 晃市 (筑波大)
 長崎 誠人 (佛教大)
 菱木 政晴 (西山短大)
 渡邊 秀司 (佛教大)
 實川 幹朗 (姫路獨協大)
 菌田 稔 (國學院大)

5日(金) 9:00~12:00

1. 早池峰神楽における宗教性と娯楽性
2. 或る医学者の成巫過程—故俣野四郎医学博士の瞑想による手技治療—
3. 御嶽講組織の現状について—岩崎御嶽山霊神場の事例より—
4. 角行系宗教と富士講における新宗教としての可能性
5. 木食普寛の祈禱活動—御座儀礼と御嶽講の成立をめぐって—
6. 如来教の教典『お経様』における「日本」の表象について
7. 「いんねん」の自覚と信仰の世代継承—天理教宇泉分教会の事例—
8. 天理教研究の問題点
9. 天理教の教理伝播について—明治期の教理文書を手がかりに—

- 長澤 壮平 (筑波大)
 戸田 游晏
 榊原奈央子 (名古屋大)
 大谷 正幸
 中山 郁 (國學院大)
 神田 秀雄 (天理大)
 青田 匡史 (東洋大)
 島田 裕巳
 安井 幹夫 (天理大)

5日(金) 13:30~16:30

【テーマセッション】修験道の世界観

1. 英彦山系修験霊山と松会
2. 彦山第三の窟、宝珠山の構造
3. 金毘羅信仰の形成—創立期の政治状況—
4. 観心十界曼荼羅と熊野比丘尼
5. 吉田神道と修験道

総合討論

- 司会 鈴木 岩弓 (東北大)
 山口 正博 (國學院大)
 山本 義孝 (浅羽町郷土資料館)
 白川 琢磨 (福岡大)
 根井 浄 (神戸常盤短大)
 宮家 準 (國學院大)

9 部会 (3号棟 33B教室)

4日(木) 9:00~12:00

1. ハワイ先住民文化復興運動における伝統宗教の再創造
2. 修養団捧誠会2001年調査—会員の意識の変容—
3. 真如苑青年部弁論大会にみる教化活動の潜在的機能
4. 宗教意識の変化—最近の調査結果から—
5. メキシコ市北部における聖母信仰
6. ブラジルにおけるペンテコスタリズム
7. 転換期のブラジル日系宗教—日系地域社会調査からの考察—
8. 沖縄のヌジファ儀礼と魂の観念

- 竹村 初美 (東大)
 永井美紀子 (國學院大)
 芳賀 学 (上智大)
 ロバート・キサラ (南山大)
 中村 千萩 (東大)
 山田 政信 (天理大)
 渡辺 雅子 (明治学院大)
 加藤 正春 (ノートルダム清心女子大)

4日(木) 13:30~16:30

1. 人口移動と寺檀
2. 熊本県八代における民間宗教者の研究
3. 日韓大学生の死生観
4. 宗教意識の潜在性と顕在性—心的現象と社会的相対性の狭間で—
5. 明治十年代に於ける仏教とキリスト教の相互認識について
6. キリスト教の婚礼と土着要素—南インドの事例をもとに—
7. 現代タイにおける上座仏教の変容
8. 東北タイの仏教と地域開発

- 深瀬 俊路 (曹洞宗総合研究センター)
 加藤 之晴 (駒大)
 伊藤 雅之 (愛知学院大)
 ジュマリ・アラム (山口大)
 星野 靖二 (日本学術振興会)
 岡光 信子 (東北大)
 矢野 秀武 (東大)
 櫻井 義秀 (北大)

5日(金) 9:00~12:00

1. C.ベルの儀礼論—儀礼化から権力へ—
2. 殉職をめぐる慰霊と言説
3. 戦争死者儀礼の系譜的理解
4. 「先鋭的な苦しみ」としてのニヒリズム
5. 代替医療と宗教
6. 心理療法における「共感」と宗教
7. 感化から教育へ—法音寺における「教化」活動の展開過程—
8. 高等学校公民科における宗教分野の扱いについての一考察

- 森下 三郎 (天理大)
 丸山 泰明 (阪大)
 西村 明 (日本学術振興会)
 石田 智秀 (龍大)
 石川 都 (茨城キリスト教大)
 脇坂 真弥 (東京理科大)
 ランジャンナ・ムコパディヤーヤ (東大)
 松本 益壽 (群馬県立二葉養護学校)

5日(金) 13:30~16:30

【テーマセッション】伝統的地域社会の宗教変動

1. 契約講の原型と変容—互助的連帯から象徴的連帯へ—
 2. 郊外化と寺檀関係の変容—寺院の「脱集落化」—
 3. 宗教講の解体と変容—三山講と山神講を中心に—
 4. 新宗教と既成仏教の葛藤—R会の対応—
 5. S会の「伝統突破」—2人の女性会員の場合—
- 総合討論

- 司会 渡辺 雅子 (明治学院大)
 寺田 喜朗 (東洋大)
 川又 俊則 (浦和学院高)
 平山 眞 (フェリス学院大)
 小島 伸之 (東洋大)
 西山 茂 (東洋大)

10 部会 (3号棟 33A教室)

4日(木) 9:00~12:00

1. 社会運動と〈近代性〉の問題
2. 現代の氏神、檀那寺信仰—愛知県の実例から—
3. 法華山一乗寺の巡礼札の再調査からみる近世の西国巡礼と巡礼札
4. 環境主義思想における動物権利論と動物供養の意義
5. 病院チャプレンとスピリチュアリティ—日米の比較から—
6. グリーフケア—真宗からのアプローチ—
7. 「スピリチュアリティ」の文脈—宗教社会学における—
8. 脳死・臓器移植問題の宗教学

- 清家 久美 (立命館アジア太平洋大)
川上 光代
幡鎌 一弘 (天理大おやさと研究所)
若林 明彦 (法大)
古澤 有峰 (東大)
林 弘幹 (真宗大谷派教学研究)
葛西 賢太 (宗教情報センター)
山崎 亮 (島根大)

4日(木) 13:30~16:30

1. 近代知識階層女性によるキリスト教信仰のあり方に関する一考察
2. 河井道的女子教育
3. 宗教研究と現代セクシュアリティ論
4. 天理教における里親活動とジェンダー
5. ハーデカー著『日本における水子供養』考
6. 現代におけるイスラーム法と女性
7. 「シバジ」と生殖技術—韓国の不妊治療にみる卵子提供と代理出産—
8. 「女性の叙階」をめぐる問題—日本聖公会の事例を通して—

- 寺坂 有美 (大正大)
森上 優子 (お茶の水女子大)
日平 勝也 (東大)
金子 珠理 (天理大おやさと研究所)
清水 邦彦 (金沢大)
岩崎 真紀 (筑波大)
淵上 恭子
薄井 篤子 (神田外語大)

5日(金) 9:00~12:00

1. デンマーク福祉思想の哲学的・宗教的原点—シバーンとダールホフ—
2. ゴスペルと日本のキリスト教
3. セルチャーチ型教会について
4. 政教分離の精神について—大統領就任式と首相の靖国参拝—
5. 偏見の衝突—宗教研究におけるナショナリズム—
6. ナショナリズムの生成—英国地方教会における第一次大戦の解釈—
7. 宗教とナショナリズムをめぐる宗教社会的接近について
8. 祝祭と家族・国家—同一性の集合的模索—

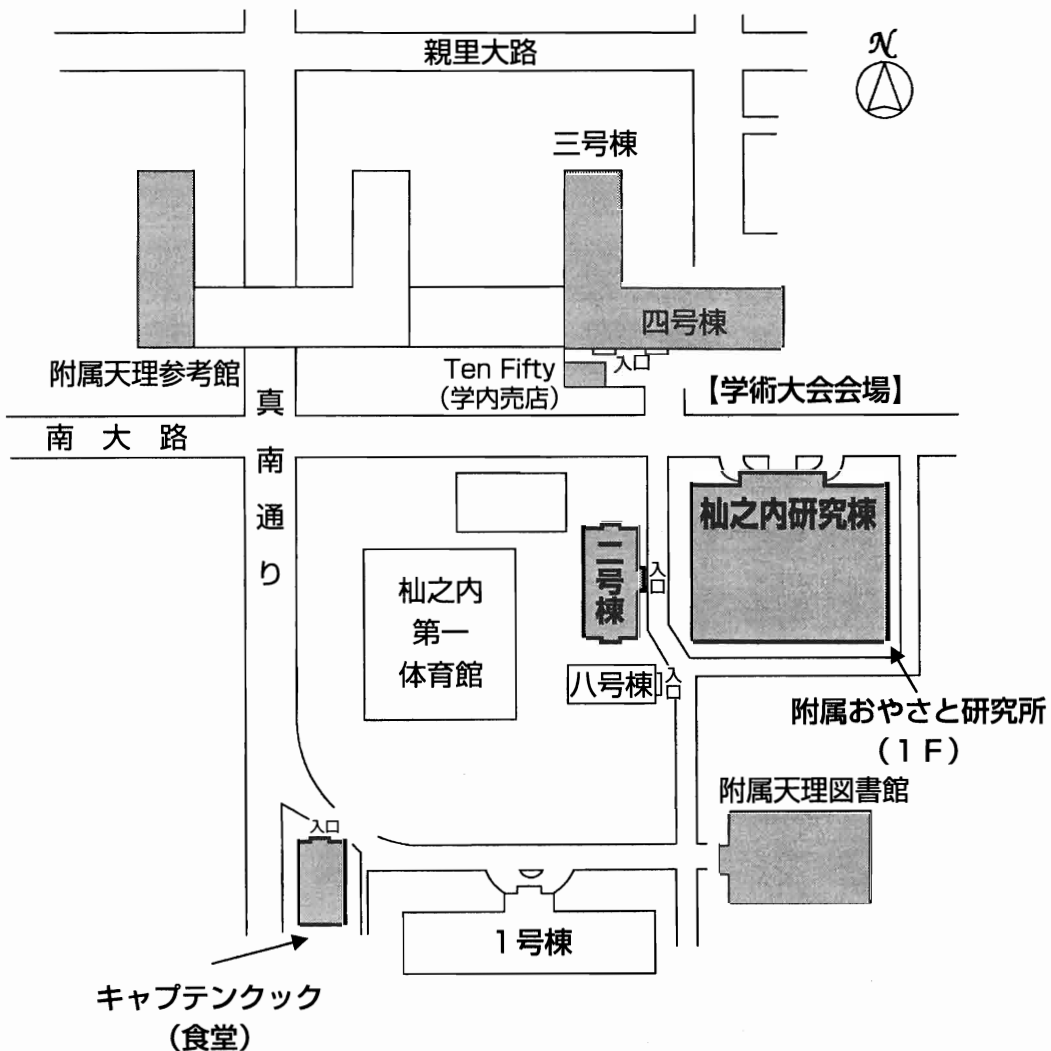
- 尾崎 和彦 (明大)
小池 靖 (日本学術振興会)
尾本 久美 (大正大)
西谷 幸介 (東北学院大)
工藤 英勝 (足利工業大)
粟津 賢太 (東洋哲学研究所)
丹羽 泉 (東京外国語大)
井門富二夫

5日(金) 13:30~16:30

1. 高利貸しと共同体—B.ネルソンを手がかりに—
2. ヘルマン・ウィリスの思想—企業パラダイムの変革—
3. インターネット上の宗教情報提供の試み
4. インターネット空間における精神的交流の可能性について
5. 教祖の影響と排除—アーレフについて—
6. 映画評にみられる死生観—北野武をめぐる—
7. 生命主義的救済観再考

- 村上 辰雄 (国士舘大)
村山 元理 (常磐大)
川端 亮 (阪大)
榎本 香織 (東大)
尾堂 修司
弓山 達也 (大正大)
櫻尾 直樹 (慶大)

天理大学杣之内キャンパス



◎大会期間中の昼食は、キャプテンクック(食堂)をご利用ください。営業時間は、9月4日・5日ともに、10:00~14:00となっております。

◎大会期間中の学内売店 (Ten Fifty) の営業時間は、以下の通りです。
9月3日~5日 10:00~14:00

